

## 膝屈筋腱を用いた膝前十字靭帯再建術後における 膝屈曲筋力の長期経過

○飯森 由紀 (いもり ゆき)(MD), 衣笠 和孝 (MD), 米谷 泰一 (MD), 濱田 雅之 (MD)

JCHO 星ヶ丘医療センター 整形外科

### 【目的】

膝屈筋腱を用いた前十字靭帯再建術後の膝屈曲筋力は、術後2年での調査において、1) 等速性運動によるピークトルク (以下PT) では健側と同等に回復すること、2) 膝関節深屈曲位では筋力低下が残存すること、3) 立位・股関節伸展位での膝自動屈曲角 (以下SKFA) は膝関節深屈曲位での筋力の簡便な評価方法の一つとなることなどが明らかにされている。しかしながら、術後長期における膝屈曲筋力については未だ不明である。

本手術後2年・5年における膝屈曲筋力を検討した。

### 【対象と方法】

2000～2011年に膝屈筋腱を用いて2重束、あるいは3重束再建術を施行し術後5年まで経過観察しえた162例 (男54例, 女108例, 年齢 $31.7 \pm 13$ 才) を対象とした。

術後2および5年にてSKFAと角速度60度/秒のPT値を計測した。

### 【結果】

SKFAは2年 (患側 $116 \pm 11.6$ 度 健側 $121 \pm 9.26$ 度  $P < 0.005$ )、5年 (患側 $115 \pm 12.2$ 度 健側 $120 \pm 8.96$ 度  $P < 0.005$ ) であり、2年・5年ともに患側で有意に低値であった。

PT値は2年で患側 $65.8 \pm 24.3$  N/m 健側 $70.8 \pm 23.3$  N/m、5年で患側 $63.5 \pm 25.6$  N/m 健側 $66.8 \pm 24.0$  N/m であり、2年・5年ともに患健側間に有意差を認めなかった。

SKFAとPTの患健比はともに、2年と5年との間に有意差を認めなかった。

### 【結論】

膝屈筋腱を用いた前十字靭帯再建術においては、術後5年においても、膝関節深屈曲位での屈曲筋力低下は残存していた。